【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和5年8月30日(2023.8.30)

【公開番号】特開2023-36673(P2023-36673A)
【公開日】令和5年3月14日(2023.3.14)
【年通号数】公開公報(特許)2023-048
【出願番号】特願2022-197208(P2022-197208)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 38/10(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 13/08(2006.01)
Ｃ０７Ｋ 7/08(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/09(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 38/10 ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ 35/00
Ａ６１Ｐ 13/08
Ｃ０７Ｋ 7/08
Ｃ１２Ｎ 15/09 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和5年8月17日(2023.8.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
良性前立腺過形成（ＢＰＨ）に罹患しやすい一又は複数のヒトにおけるＢＰＨの症状の悪化もしくは進行、または緩和しない状態を改善または予防する薬剤の形態で、配列ＩＤ番号６６のアミノ酸配列（Ｉｌｅ－Ａｓｐ－Ｇｌｎ－Ｇｌｎ－Ｖａｌ－Ｌｅｕ－Ｓｅｒ－Ａｒｇ－Ｉｌｅ－Ｌｙｓ－Ｌｅｕ－Ｇｌｕ－Ｉｌｅ－Ｌｙｓ－Ａｒｇ－Ｃｙｓ－Ｌｅｕ）からなる単離ペプチドであって、
前記薬剤は、前記一又は複数のヒトに投与された場合に、プラセボ対照と比較して、国際前立腺症状スコア（ＩＰＳＳ）で測定されるＢＰＨの症状の悪化もしくは進行、または緩和しない状態を呈するヒトの割合を６０％を超えて低下させるだけの量の前記単離ペプチドを含む、
単離ペプチド。
【請求項２】
前記薬剤は更に担体を含む、請求項１に記載されたペプチド。
【請求項３】
対照と比較して、国際前立腺症状スコア（ＩＰＳＳ）で測定されるＢＰＨの症状の悪化もしくは進行、または緩和しない状態を呈するヒトの割合が６５％を超えて低下する、請求項１に記載のペプチド。
【請求項４】
対照と比較して、国際前立腺症状スコア（ＩＰＳＳ）で測定されるＢＰＨの症状の悪化もしくは進行、または緩和しない状態を呈するヒトの割合が最大で１００％低下する、請求項３に記載のペプチド。

【請求項５】
前記薬剤は、アルフゾシン、タムスロシン、デュタステリド、タダラフィル、テラゾシン、フィナステリド、ドキサゾシン、フィナステリドとドキサゾシンの組み合わせ、およびそれらの混合物からなる群から選択される付加的な治療薬を更に含む、請求項２に記載のペプチド。
【請求項６】
良性前立腺過形成（ＢＰＨ）に罹患しやすい一又は複数のヒトにおけるＢＰＨの症状の悪化もしくは進行、または緩和しない状態を改善または予防する薬剤の形態で、配列ＩＤ番号６６のアミノ酸配列（Ｉｌｅ－Ａｓｐ－Ｇｌｎ－Ｇｌｎ－Ｖａｌ－Ｌｅｕ－Ｓｅｒ－Ａｒｇ－Ｉｌｅ－Ｌｙｓ－Ｌｅｕ－Ｇｌｕ－Ｉｌｅ－Ｌｙｓ－Ａｒｇ－Ｃｙｓ－Ｌｅｕ）からなる単離ペプチドであって、
前記薬剤は、前記一又は複数のヒトに投与され、後に同じ前記一又は複数のヒトに投与されると、プラセボ対照と比較して、国際前立腺症状スコア（ＩＰＳＳ）で測定されるＢＰＨの症状の悪化もしくは進行、または緩和しない状態を呈するヒトの割合を６０％を超えて低下させるだけの量の前記単離ペプチドを含む、単離ペプチド。
【請求項７】
対照と比較して、国際前立腺症状スコア（ＩＰＳＳ）で測定されるＢＰＨの症状の悪化もしくは進行、または緩和しない状態を呈するヒトの割合が６５％を超えて低下する、請求項６に記載のペプチド。
【請求項８】
対照と比較して、国際前立腺症状スコア（ＩＰＳＳ）で測定されるＢＰＨの症状の悪化もしくは進行、または緩和しない状態を呈するヒトの割合が最大で１００％低下する、請求項７に記載のペプチド。
【請求項９】
前記薬剤は更に担体を含む、請求項６に記載されたペプチド。
【請求項１０】
前記薬剤は、アルフゾシン、タムスロシン、デュタステリド、タダラフィル、テラゾシン、フィナステリド、ドキサゾシン、フィナステリドとドキサゾシンの組み合わせ、およびそれらの混合物からなる群から選択される付加的な治療薬を更に含む、請求項９に記載のペプチド。